

| 2. 事業の概要と成果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--------|--------------|------|------|------|----|------|------|------|-----|----------|---|---|---|---|------------|---|---|---|---|
| <p>(1) 上位目標の 達成度</p> | <p>達成 本事業での道路補修研修にて 3,982 m のコミュニティ道路が補修された。通年通行可能な道路となり、維持管理計画研修で具体的な道路補修計画が策定された。ネピドー連邦領・レイウェイ地区では地域開発局が道路補修技術の工法として土のう工法を取り入れたいとの要望があり、本事業の日本人専門家が中心になり同局エンジニアへ向け土のう工法の研修を実施した。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(2) 事業内容</p> | <p>(1) 道路補修 I. エーヤワディー地域・ピャポン タウンシップ・ミンラス村 補修延長 1,200 m II. マグエ地域・ ①シンバウウェ タウンシップ・ミンカン村 補修延長 2,500 m ②チャウ タウンシップ・チャウテー村 補修延長 42 m III. シャン州・ペコン タウンシップ・ノットン村 補修延長 240 m (1-1) グループリーダーへの施工に関する研修 (1-2) 実施工とグループメンバーへの施工に関する実地研修 (1-3) コミュニティ組織強化研修及び維持管理計画研修 (1-4) 交通安全研修 (1-5) 近隣コミュニティ、僧侶へ向けて現場視察、道路整備技法についての研修。 (2) コミュニティ組織強化研修及び維持管理計画研修 IV. カレン州・シングー村落地域 V. ネピドー連邦領・レイウェイ村落地域 (2-1) 近隣コミュニティ、僧侶へ向けてデモンストレーション含めた道路整備技法についての研修。 (2-2) コミュニティ組織強化研修及び維持管理計画研修 (3) 地方政府、地域開発局 (DRD) エンジニアへ各事業地の報告や道路整備技法共有。 (4) ミャンマーで活動する他 NGO 団体への研修。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>(3) 達成された 成果</p> | <p>(1-1) グループリーダーへの施工に関する研修 以下の内容について、表中に示す参加者数を得て 2 日間研修を実施した。 ① 対象道路の現状、問題点の把握、現地調達可能資機材の調査。 ② 策定した計画について道路沿線住民間の合意形成。 ③ 道路問題を担当するリーダーとリーダー補佐に対して、対策計画、資機材調達、施工の過程で指導的またその補佐的な役割。 【リーダー研修参加人数と研修日数】</p> <table border="1" data-bbox="391 1798 1401 1966"> <thead> <tr> <th>地域・州・県</th> <th>エーヤワディ 地域</th> <th>シャン州</th> <th>マグエ県</th> <th>マグエ県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村名</td> <td>ミンラス</td> <td>ノットン</td> <td>ミンカン</td> <td>チャウ</td> </tr> <tr> <td>リーダー (人)</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>リーダー補佐 (人)</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>エーヤワディ地域ミンラス村、シャン州ノットン村、マグエ県ミンカン村・チャウテー村については、上記研修事項についてリーダー、リーダー補佐含め内容を理解した。</p> | 地域・州・県 | エーヤワディ 地域 | シャン州 | マグエ県 | マグエ県 | 村名 | ミンラス | ノットン | ミンカン | チャウ | リーダー (人) | 5 | 6 | 5 | 5 | リーダー補佐 (人) | 5 | 6 | 5 | 5 |
| 地域・州・県 | エーヤワディ 地域 | シャン州 | マグエ県 | マグエ県 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 村名 | ミンラス | ノットン | ミンカン | チャウ | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リーダー (人) | 5 | 6 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リーダー補佐 (人) | 5 | 6 | 5 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 達成された成果
(続き)

一方シャン州ノットン村については、これまでコミュニティ活動は活発ではなく、リーダー、リーダー補佐の任命やその役割の理解に研修時間を要した。③に関しては当研修内だけでは不十分だった為、実際に道路補修工事を開始してからOJT形式で理解してもらえるように努めた。

(1-2) 実施工とグループメンバーへの施工に関する実地研修

【研修参加人数、工事日数、施工距離】

| 地域・州・県 | エーヤワディ地域 | シャン州 | マグエ県 | マグエ県 |
|-------------|--------------|------------|--------------|-----------|
| 村名 | ミンラス | ノットン | ミンカン | チャウ |
| リーダー(人) | 5 | 6 | 5 | 5 |
| リーダー補佐(人) | 5 | 6 | 5 | 5 |
| 参加者(人)/日 | 50 | 30 | 40 | 40 |
| 工事研修日数合計(日) | 120 | 125 | 150 | 65 |
| 施工距離 | 全面改修、1,200 m | 全面改修、240 m | 全面改修、2,500 m | 全面改修、42 m |

ノットン村以外はリーダー、リーダー補佐が中心となって現場を取り仕切り、順調に工事を進める事ができた。

ノットン村に関しては日によって予定していた参加人数が集まらない、リーダー、リーダー補佐が現場をうまくまとめる事ができず、工事を止むを得えず中止する日もあった。フィールドオフィサーが中心となり何度もコミュニティミーティングを重ね状況改善に努めた。

(1-3) コミュニティ組織強化研修及び維持管理計画研修

H26年度から実施している①プロポーザル作成研修、②会計処理能力向上研修の他に③コミュニティグループマネジメント能力向上研修、④リーダーシップ研修(主にシャン州・ノットン村)も本年度から取り入れた。特に③についてはH25年度～H27年度・全事業実施地のコミュニティ代表者をマグエ地域に集め、同地域・シンバウウェ地区で本年度実施した事業地への視察、各地区のコミュニティが抱える問題や成功事例などの情報共有や意見交換できる場を設けた。

特にコミュニティ活動実績の少ないシャン州・ペコン地区のノットン村代表者からは多くの質問があがり、彼らの抱える問題(工事に村人が参加してくれない、リーダーがどのようにコミュニティをまとめればよいか分からない)に対して、他のコミュニティから彼らの経験を通して実践的な助言が得られた。ノットン村以外のコミュニティも他の地域でどのようなコミュニティ活動が行われているのか、どのような問題を抱え、解決してきたのかを知る事ができ新たな目標や学びを本研修を通して得る事ができた。

(1-4) 交通安全研修

道路補修終了後に道路状況の改善から、通行する車両やバイク台数の急増や速度超過が予測された。同研修では地域住民、僧侶も参加し走行速度についてコミュニティ毎にルールを設定、速度を落とすよう促す道路標識やバンプ設置に向けての協議も行った。

(1-5) 本事業年度道路改修箇所近隣のコミュニティ、僧侶へ向けて現場視察、道路整備技法についての研修。

ノットン、ミンカン、ミンラス村周辺村コミュニティへ向けて、道路補修整備技術についての研修を行った。(参加コミュニティグループ計_13 箇村、参加者70名)

(2) コミュニティ組織強化研修及び維持管理計画研修

IV. カレン州・シングー村落地域

V. ネピドー連邦領・レイウェイ村落地域

| | |
|------------------|--|
| | <p>(2-1) 近隣コミュニティ、僧侶へ向けてデモンストレーション含めた道路整備技法についての研修。 カレン州、シングー地域（参加コミュニティグループ計5カ村、250名） ネピドー連邦領、レイウェイ村落地域：（参加コミュニティグループ計4カ村、54名）</p> <p>(2-2) コミュニティ組織強化研修及び維持管理計画研修 両地域共に、H26年度・本NGO連携無償資金協力事業で研修を受けた村人らを中心に維持管理研修（デモンストレーション）を行い技術普及と定着に努めた。 レイウェイ地区のゼーコン村についてはコミュニティがプロポーザルを作成し、レイウェイ地域開発局から資金（ワールドバンクが地域開発局とすすめるCommunity-Driven Development (CDD) プロジェクトからの資金）を獲得し、独自に村内の道路補修工事を土のう工法を用いて行った。</p> <p>(3) 地方政府、地域開発局（DRD）エンジニアへ各事業地の報告や道路整備技法共有。 マグエ地域、ネピドー連邦領にて地域開発局の職員、エンジニアへ向け技術研修、事業報告を行った（参加者：①マグエ地域41名、②レイウェイ連邦領25名）。マグエ地域での研修では、講義後に本年度事業実施地であるミンカン村での見学会を行った。レイウェイでは講義後に研修会場近郊のカンウー村でデモンストレーションを実施し、施工過程の見学と実作業体験の機会を提供した。</p> <p>(4) ミャンマーで活動する他NGO団体への研修 ミャンマーで活動する国際人道支援団体Church World Service Japanの要請を受け、スタッフの方をエーヤワディー地域の施工現場に受け入れ、道路補修研修を行った。 その他、各地域の具体的な成果については、添付書類②「成果リスト」に示す。</p> |
| <p>(4) 持続発展性</p> | <p>本事業では各地域に適合した道路補修技術を提案すると共に、事業終了後も良好な道路状況をコミュニティが保持できる為に維持管理研修を必ず実施してきた。</p> <p>維持管理の重要性については地方道路整備を行う地域開発局にも繰り返し訴えかけてきた。H25年度から本事業で補修した道路状況が良好なことから、地域開発局も本団体が持つ道路補修技術に大変注目している。マグエ県・マグエ地区、シンバウウェ地区、ネピドー連邦領・レイウェイ地区では同局から研修依頼があり、本年度は地域開発局職員、エンジニアへ向けても実地研修を行った。</p> <p>各村で道路補修能力を身に着けたCSO (Civil Society Organization) の実績が認められれば、地域開発局とCSOが連携し小規模な地方道路整備を行う可能性がある。従来の施工業者を介する方法に比べ予算を抑えることができ、これまで取り残されてきた小規模地方道路整備の促進、改善が見込まれる。</p> |